

NASサーバー

家庭向けモデル



法人向けモデル

比較
資料



家庭向け 法人向けのちがいは

アクセス処理速度がちがう

法人向けのモデルは、複数人で共同で作業することを前提として設計されているため、元々の性能や構築が高くなっています。そのため、複数人でデータを編集しても動作が重くなりづらくなっています。

アクセス権で情報漏洩防止

法人向けモデルでは、各フォルダにアクセス権を設定することで、決められたユーザーのみが閲覧・編集できるように設定することが可能です。

これにより、部署や役職ごとに情報を管理できるので、情報漏洩防止になります。

RAID機能でデータ冗長化

RAID機能とは、複数枚の内蔵HDDにそれぞれ同じデータをミラーリングコピーしておくことで、1枚のHDDが故障などしても通常通り動作できるような冗長化のことを指します。

バックアップ以外の方法でも冗長的な構築ができるのが法人モデルの優れたところです。

バックアップ機能の拡充

法人向けモデルでは、NASサーバー本体のバックアップ機能が備わっており、例えばNASサーバーに接続した外付けHDDに本体のデータをバックアップすることが可能です。

RAID機能と合わせて利用すれば、「二重の保険」となります。

	家庭向けモデル IO-DATE HDL2-AAXシリーズ	法人向けモデル Buffalo TS3420DNシリーズ
CPU	Marvell Armada382 Dual Core 1.33GHz	Annapurna LabsAlpine AL214
メモリ	512MB	1GB
HDD数	2	4～
データ容量	2TB～16TB	2TB～16TB
RAID	構築不可	構築可能
データ暗号化	不可	可能
アクセス権の設定	不可	可能

ルートシステムの 導入・保守サポート

安心安全のデータ移行

ご利用のサーバーからデータや設定の移行を行います。
移行中も、いつも通り業務を行えるような移行手段で作業いたします。
移行漏れを防ぐために数回に分けて作業をさせていただきます。

アクセス権の設定

アクセス権を設定することで指定したフォルダに対しては、特定のユーザーのみが閲覧・編集できるようになります。
部署や役職ごとにフォルダの情報統制ができるため、情報漏洩を防止できます。

各PCの自動バックアップ

PC内のデータを日時指定で自動バックアップします。例えば「12時に自動バックアップ」と設定していれば、その時刻に自動でNASサーバーへバックアップを行います。
PCの破損やサイバー攻撃、ウイルス感染などPC本体のデータ損失時にバックアップから復旧可能です。

NAS本体の自動バックアップ

NAS本体のデータを接続した外付けHDDへ自動バックアップします。
NAS本体の故障や破損時に、会社の財産とも言える共有データをバックアップから復旧できます。
こちらも毎日決められた時間になると自動でバックアップされるので管理コストも削減できます。